

令和2（2020）年度 校友会事業報告

令和2年度の校友会実施事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの事業が縮小、中止することとなった。

I 主要会議

○評議員会、理事会

第1回 令和2年5月26日（火） 6月4日を回答期限としたメール会議

第2回 令和2年10月1日（木） 10月12日を回答期限としたメール会議

第3回 令和3年3月18日（木） 教育文化ホールにてハイブリット方式会議

○校友会総会

横国Day中止に伴い校友会総会も中止となり、ホームページにて報告事項を掲載。

○専門委員会

・広報委員会はメール会議を2回開催

・総務・財務委員会は1回開催

II 主要事業実績

多くの事業が中止となったため、実施事業のみ掲載。

1. 入学時関連事業

○学事暦カレンダーの作成、送付

6,000部作製。在学生には2月末、令和3年度新入生には5月に送付。

○入会促進パンフレットの作成

校友会、同窓会への入会を促進するためパンフレットを作成し、合格者へ送付。

○ノベルティ

令和2年度新入会員に記念品として贈呈する特性バインダー（ロゴ入り）を作成。例年は会員証の発行と併せて学生に渡しているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い対面授業が行われず、学生が登校できないことから令和2年度新入生には郵送することとした。

2. 広報活動事業

○会報誌第6号の発行

8月初旬に28,000部を作製。卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者に送付。

○校友会業務用情報基盤

ライセンスの更新作業、ドメイン維持費、内臓HDDの増設。

3. 学生活動支援事業

○学生による地域課題解決支援事業

学生が自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かうプロジェクトを支援。支援費（各20,000円）を23プロジェクトに支給したが、活動の縮小から多くのプロジェクトで支援費の未使用が発生した。

○キャリア教育支援

① 「グローバル化と日本人」

異文化理解とコミュニケーション力養成を狙いとした全学部対象の教養科目。

秋学期にリモートにより実施した。

② 「グローバルビジネス実践論」

海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いの全学部受講対象専門科目。秋学期にリモートにより実施した。

○スポーツ支援プロジェクト

令和元年度に顕著な成績を取めたスポーツ団体等7団体に対し副賞（活動奨励費）100,000円を贈呈。スポーツ関連設備等の整備については中止した。

硬式野球部、水泳部、スポーツチャンバラ翔剣会、トライアスロン部、陸上競技部、弓道部、モータースポーツ部フォーミュラー部門

○YNU横浜経営者の会連携講座の開講。

講座開設2年度目は「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」2年次生以上に秋学期にリモートにより実施した。

○就職支援活動

大学、同窓会との共催で実施。

○学生用情報伝達モニター（デジタルサイネージ）維持費

令和元年度に設置した機器の維持管理費に使用。令和3年4月より本格的に運用を開始した。

4. 全会員対象事業

○美術館・博物館キャンパスメンバーズ

国立美術館、東京国立博物館とも臨時休館期間3か月分が返金された。

5. 大学支援事業

○国大基金への寄附

通常基金への寄附（4,344,000円）のほか、コロナ過で経済的に困窮している学生への支援のため5,280,000円を寄附し大学を応援。

○大学への寄附を募るパンフレットの作成

30,000部を印刷。企業、各同窓会、教職員に配布。